



柳井市は、学校を中心に市民が交流を深め、新たな絆を生み出すことによって、学校・家庭・地域が一体となった人づくり、まちづくりを進めるスクール・コミュニティを推進しています。今年度より、「学校支援ボランティア」の名称が「学校応援団」と変わり、登録人数も増えるなど、ますます学校支援の機運も高まっています。学校運営協議会、学校応援団、地域協育ネットの仕組みを生かして、学校づくりと地域づくりの好循環を目指します。

## 柳井市の推進構想

# スクール・コミュニティによる教育のまちづくり

### 愛、夢、志をはぐくむ教育 ～スクール・コミュニティによる教育のまちづくりの推進～

**本市では地域コミュニティ、地域で暮らす人々、そして自分自身に対する愛をはぐくむ教育を推進します。**

市民熟議の中で最も多く登場したワードは「ふるさと」「郷土」「地域」です。これらの言葉は多くの場合「愛」ということばと結びついて語られていました。また、市民アンケートのめざす市民像の中で、任意的に多かったのは「やさしさや思いやりのある市民」でした。やさしさや思いやりは他者に対する「愛」そのものです。そして熟議の中では、「自分自身が輝く、大人が輝く、輝く大人を見て子どもが輝くまで」という声が増えてきました。自らをもっと成長させたいという向上心は、自尊感情という、自分自身に向けられる「愛」に支えられています。このような、地域や他者、そして自分自身を愛する心は、人づくり、まちづくりを支える根っこを強くします。本市では地域コミュニティ、地域で暮らす人々、そして自分自身に対する愛をはぐくむ教育を推進します。

**本市では、一人ひとりの夢をはぐくむ教育を推進します。**

市民による熟議のテーマは「めざすはどんな柳井市民?」「教育が充実したまちってどんなまち?」でした。これらのテーマについて真剣にそして和やかに話し合う中で、「子どもには想像力のある市民になってほしい」「だれもが学び続けられるまちでありたい」といった多くの理想が語られました。夢を語るときは笑顔になります。なりたいたい自分を思い描きそれに向かってチャレンジすることは、年齢に関係なくその人の人生を豊かにします。本市では、一人ひとりの夢をはぐくむ教育を推進します。

**本市では、志と共にそれを成し遂げるための力を育成する教育を推進します。**

中学生による熟議では、将来どんな社会人になりたいかについて熟議が行われました。2時間半にわたる熱い熟議の中で本市の中学生がとりこむべき社会人に求められる資質は、「強い意志」「責任感」「最後まで努力する」といったものでした。これは自らの志を成し遂げるために必要不可欠なものです。本市では、志と共にそれを成し遂げるための力を育成する教育を推進します。

**本市では、学校、家庭、地域が一体となった人づくりを推進していきます。**

「愛」「夢」「志」は、学校だけ、家庭だけ、地域だけで育つものではありません。学校、家庭、地域がしっかりと連携することによってはじめてこれらははぐくまれます。本市では、学校を中心に様々な年齢層の市民が交流を深め、新たな絆を生み出すことによって、学校、家庭、地域が一体となった人づくりを推進していきます。



**特集**  
**おとなも つどう 学校に!**  
 ～「学校応援団」募集中～

私たち大人には、子どもたちが夢をかなえ、未来に希望を持ち、笑顔で暮らせるまちをつくっていく使命があります。そのために、私たちは何ができるでしょうか？

広報やない 令和元年7月11日号

## 課題

- 学校は、「やまぐち型地域連携教育」の取組について、積極的な情報発信や公開を行っているが、地域住民や保護者の認知度が低い
- 学校支援者の高齢化、支援者の固定化、後継支援者の問題
- コーディネーターの活動の充実と行政の支援

## 重点取組事項

- 学校だよりの工夫改善(コミスクの周知、見やすい読みやすい、地域の声等)
- 市全体の学校応援団に加えて、学校単位の「学校応援団」を組織し、人材の発掘と主体性の育成を図る
- 毎月コーディネーターとCS・ネット担当とSCと総合コーディネーター・エリアADの情報交換会
- 情報交換会の様子をSCセンターだよりで各校に知らせる。

## 成果指標

- CSの認知度や児童生徒の変容について、抽出アンケートを実施し、比較検討
- 学校応援団名簿の更新と各校の報告書(成果と課題)による状況把握



柳井市の取組は、学校単位の「学校応援団(学校支援)」が特色のひとつです。スクール・コミュニティセンター(柳井小学校内)担当者が、市内各小・中学校の学校応援団を取りまとめて人材確保に努め、9月現在延べ1167名が登録されています。また、地域コーディネーター・市教委担当者・エリアアドバイザーが毎月集まって、学校支援や学校を核としたまちづくりの情報交換や課題解決の協議を行い、市全体の組織的な「やまぐち型地域連携教育」が展開されています。

### 活動取組

#### しらかベネット(柳井中学校区) ちびっこ屋台&子ども広場



毎年11月23日にある柳井まつりでは、各学校の児童生徒や地域住民が特産物や野菜などの販売体験や伝統文化・芸術活動をはじめとしたステージ発表、ワークショップを行います。様々な体験活動を通して参加者が交流する場となっています。

#### 余新ネット(柳井西中学校区) 大総会&熟議



8月21日(水)に柳井西中学校にて、校区小中学校教職員、児童生徒、保護者、地域住民など約80名が参集し、「にしの日プロジェクト」の企画書を作成しました。それぞれの立場から、実践につながる素晴らしい意見が交わされました。

#### 南部ネット(柳井南中学校区) 子育て輪づくり



3年生家庭科授業「幼児とその生活」の一環として、「子育て輪づくり」が柳井市母子保健推進協議会・更生保護女性会・保護司会の協力で開催されました。思春期の中学生が、乳幼児の目線の高さになって、笑顔いっぱい話しかける姿がとても素敵でした。

#### うずしおネット(大畠中学校区) 夏休み勉強会



毎週水曜日に実施している地域協育ネットによる放課後学習教室の拡大版として、夏季休業中に3日間実施しました。地元の中学生(卒業生)も多数ボランティアとして参加し、学習支援にあたりました。

### 学校応援団総会



各学校の学校応援団が集まって現在の取組や今後の活動などについて話し合う機会を設けています。この話し合いを通して、教職員と地域住民の相互理解が深まるとともに、学校応援団による主体的な活動が生まれつつあります。

### 学校応援団の取組



柳井中学校では、地域のボランティアの方々により生けられた花を、各教室へ飾ります。生徒との交流も増え、あたたかいあいさつや言葉掛けが飛び交うようになっています。この他にも各学校において、学習支援や体験活動支援、除草・清掃活動などが行われています。

### コーディネーターの情報交換会



月に一回程度コーディネーターの情報交換会を行っています。各学校での取組や課題を話し合うことで新たな取組や人材の発掘などにつながっています。

### エリアアドバイザーだより

宿泊学習、修学旅行、運動会練習など1学期の大きな行事が続く中ですが、その成果も実感されておられる頃と思います。

さて、第1回の学校運営協議会、小中一貫教育協議会等に参加させていただきありがとうございました。各学校のこれまでの歩みを知る機会になるとともに、新学習指導要領の全面実施が迫る中で学校のめざす教育の活動方針等を教えていただく機会ともなりました。

また、その中で、他の地域や学校の取組を紹介させていただきたいというお話をさせていただきました。皆様のご協力をいただき、今後この紙面でその紹介をしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

**ちよっといし話**

コーディネーターや教職員に向けて地域連携に関する情報提供を行っています。多くの内容を盛り込みたくはありますが、精選し読みやすくなるよう工夫しています。